

平和への思い

古堅中学校 五組 上地 いくみ

「戦争って、どんなものだろう」きっと残こくで、とても怖いものだと思う。私は、よく祖母から戦争の話聞く。祖母は、涙を浮かべながら私に話してくれる。その姿を見て私は、とてもつらかったんだなあ、と思いました。戦争はとてもおそろしいものです。人々の命を奪ってしまい、体も心も傷つけられてしまいます。人が自分の周りで死んでいくのを目の前でみるなんてとても考えられません。もし、私だったら戦争というものにあたえていけたでしょうか？私は多分無理だったと思います。もしかしたらたえられずに、自決したかもしれません。祖母は、とてもつらいことを経験したんだなあ。と、思いました。私は、少しでもつらいことがあると逃げだしてしまうけど、祖母はつらいことがあってもそれをのりこえて明るく頑張ってきた

ので、とてもすごいなあ。と、思いました。私も祖母のような強い大人になれるように頑張りたいと思います。

祖父から聞いた話ですが、「アメリカ軍の捕虜となったら、女性は暴行されたり、男性は両足をくびつたあと、戦車でひきちぎられたりするよ。」と日本兵がアメリカ兵にたいしての恐怖心を与えていたそうです。戦時中は食べ物もなく、ソテツや葉っぱなどを食べていたそうです。それに比べ今は、食べ物とかが豊富なので、とても幸せだなあ。と思いました。戦争がなくなってからも多くの人たちがマラリアという病気になって死んでいくのを祖父は見てきたそうです。祖父がよく言います。

「自分たちはこんなに苦しい戦争を体験したから子や孫に二度と戦争をあじあわせたくない。いつまでも、平和な世の中であってほしい。」

と。この言葉、この重さを私は忘れずにいた

いです。祖父母のつらい体験を周りの人へ伝えていきたいです。

戦争は、人の貴い命を奪ってしまおう、とてもおそろしいものなんだなあ。と、思いました。戦時中は、学校も行けなくて食べ物もなかった。だったので、今の生活に感謝して、一日一日大切に生きていこうと思います。これからも平和な人生が歩めるように、いつまでもいつまでも平和を願いたいと思います。戦争というものを今度は、私たちが次の世代の人達に伝えて今の平和が続くようにしたいと思いました。